

気仙沼市立津谷中学校 防災通信

備えあれば憂いなし



令和2年 6月17日(水)

第 2 号 (不定期)

文責 藤田

地震・津波を想定した避難訓練を実施しました！

授業中に地震が発生し、大津波警報が発表されたことを想定し、6月15日(月)7時00分に避難訓練を実施しました。

ほとんどの生徒が「お」…押さない「は」…走らない「し」…しゃべらない「も」…戻らない を守りながら4分以内に避難を完了することができました。校長先生から42年前の宮城県地震の体験をもとに「天災はいつ起こるか分かりません。いつどこで震災が起きても対応できるように防災意識をしっかりと持って行動してほしい。」との話がありました。

中学生は地域の方から、「正しい判断と行動ができる人」と思われています。震災時、地域の防災に携わることができるよう、災害に対して正しい知識と判断、行動ができる人になってほしいと願っています。

菊池支援員さんの体験談

当時、私は南気仙沼小に勤務していました。発生時は、県大会(学童)に出場する野球の練習で立っていることもできませんでした。校庭の真ん中で怯えている子どもたちを励ましながら揺れが納まるのを待っていたことを42年前の事ですが、今でも鮮明に覚えています。



第1避難場所(グラウンド)へ避難する1年生



校長先生の話に真剣に耳を傾ける全校生徒

宮城県沖地震から42年…

～6月12日は「県民防災の日」～

今から42年前の1978(昭和53)年6月12日(月)午後5時14分、宮城県沖地震(震源の深さは40km、マグニチュード7.4)が発生しました。県内でも27名が犠牲となり、1万人以上が負傷しました。当日の学校日誌には、震度について「1度目2、2度目5?、数度の弱震」、被害状況について「図書室、蛍光灯1落ち割れ 保健室、ガラス1枚落ち割れ 理科室メスシリンダー2本割れ 屋体西側入口前地割れ」と記されていたことから、本校への被害も大きかったことが推測されます。

現在、宮城県では6月12日を「県民防災の日」と定め、6月には避難訓練が多くの学校で実施されています。防災意識を常に持ち、どんなときでも落ち着いて行動できるように訓練を重ねていきたいと考えております。

引き渡し訓練への御協力をよろしく願いたします！

予定通り、6月29日(月)に引き渡し訓練を実施します。6月22日(金)に「非常時における生徒の引き渡しを行う際の車の通行について(お願い)」を配付します。内容をご確認いただき、速やかな引き渡しへの御協力を願いたします。なお、参加の有無、引受者に変更があれば、当日の午前中までに学校(42-2654 担当:藤田)まで連絡を願いたします。